



## 阪神・淡路大震災後の 日本地震学会の取組・活動

京都大学大学院理学研究科  
公益社団法人日本地震学会会長  
久家慶子

### 日本地震学会の現在の16常置委員会

IASPEI委員会	強震動委員会	大会・企画委員会
欧文誌運営委員会	広報委員会	ダイバーシティ推進委員会
海外渡航旅費助成金 審査委員会	災害調査委員会	表彰委員会
学会情報誌編集委員会	ジオパーク支援委員会	普及行事委員会
学校教育委員会	「地震」編集委員会	倫理委員会
	地震学を社会に伝える連絡会議	

### 日本地震学会の現在の16常置委員会 兵庫県南部地震後の組織改革でできたもの

IASPEI委員会	強震動委員会	大会・企画委員会
欧文誌運営委員会	広報委員会	ダイバーシティ推進委員会
海外渡航旅費助成金 審査委員会	災害調査委員会	表彰委員会
学会情報誌編集委員会	ジオパーク支援委員会	普及行事委員会
学校教育委員会	「地震」編集委員会	倫理委員会
	地震学を社会に伝える連絡会議	

# 1995年兵庫県南部地震で問題になったこと

「関西に大地震は起きない」という誤った常識があった

甚大な被害にもかかわらず地震の発生を予測できなかった

何が起きたのかを伝え、明らかにしなければならない

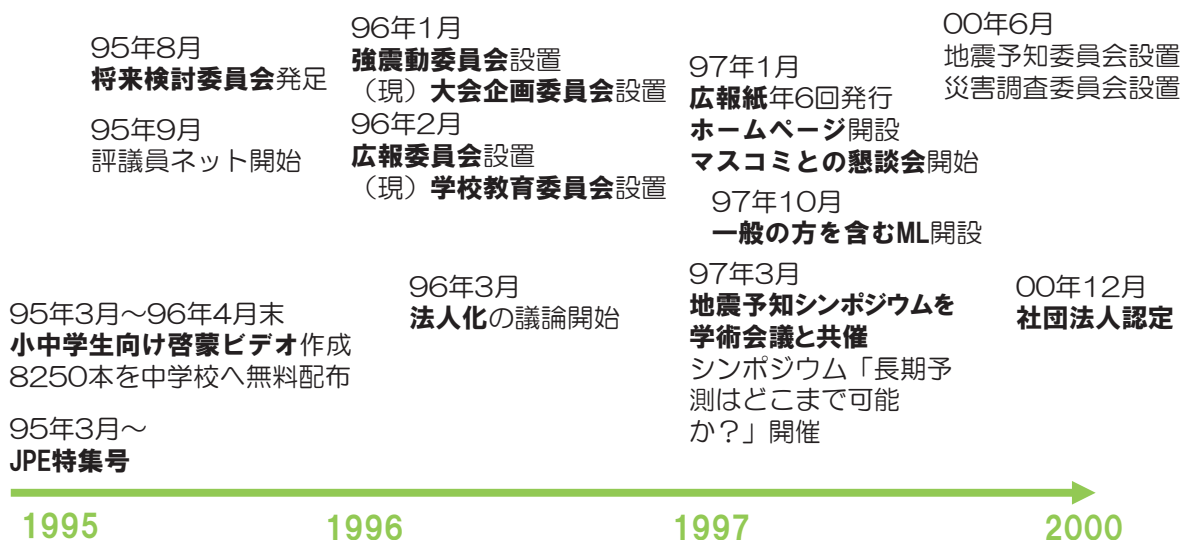
地震学会では

小中学生向け啓蒙ビデオの作成、JPE特集号の発行を早々に決定

- ・組織としての地震学会の責任を考えるべき
- ・教育・普及活動を実施すべき
- ・日本地震学会の内部機構を整備する必要

➡ 「将来計画委員会」の発足、上記を重点的に検討

## 1995年兵庫県南部地震後の取組の時間的流れ



## 兵庫県南部地震後、日本学術会議の活動との協働

### 地震学研究連絡委員会

- ・地震予知小委員会において、地震予知研究の見直しと充実の検討
- ・同小員会は、最終報告冊子「地震予知研究への提言」をまとめた
- ・「地震予知シンポジウム」を日本学術会議・地震学会共催で開催

➡ 地震予知研究は、短期予知から長期予測、物理モデルの構築へ

### 地球物理学研究連絡委員会

- ・日本学術会議内の多くの分野を横断する形で設置された「阪神・淡路大震災特別委員会」に対して、地震庁の設置、活断層法の制定、強震観測網の整備などの提言

## 2011年東北地方太平洋沖地震で露呈した問題

- 重要な課題に対して会員間での議論の場を設けるべき
- 地震・津波防災に関連する他学会との連携を図る
- **国家プロジェクトに関する議論の場を学会で提供**
- 「地震予知」への取り組みを見直すべき
- **社会に対して「等身大」の地震学の現状を伝えていくべき**
- 学術情報発信の在り方を検討すべき

➡ 『日本地震学会の改革に向けて：行動計画2012』  
(2012年10月11日)(Web公開)

➡ 大地震発生時や南海トラフ地震臨時情報への  
対応を事前検討、Web公開

## 2024年能登半島地震に関連する活動

- 能登半島地震への対応について**会長声明の発出**
- **能登半島地震に関連する論文・記事をまとめたWebページ公開**
- **オンライン談話会**(計4回、ZoomおよびYouTube)の開催  
2月2日、2月8日、2月15日、2月28日
- 日本地震学会秋季大会での**特別セッション**の開催
- 日本地震学会**一般公開セミナー**「新潟から神戸にかけておこる被害地震に迫る - 2024年能登半島地震から考える -」の開催
- Earth, Planet and Space **特別号**

## 兵庫県南部地震から30年、これからの未来へ ～私個人の所感～

- 情報を伝えるための媒体(ホームページ、SNS、YouTubeなど)は多様化し、誰でも簡単に利用できるようになった
- 何を伝えるか、誰に伝えるか
- 研究でえる新しい知見が、私たちの最も大切な財産
- 実際に起こることがすべて、地震から地震の1サイクルの変動を観測することの実現へ
- 蝸壺におさまらない、自由で、幅広い視点での議論や批判の必要性
- 各地域に対応した理解、その時々々の流行りではない研究の育成